

第7号

矢祭町 ゲストハウスプロジェクト
地域おこし協力隊による
活動報告と自己紹介を兼ねた
フリーペーパーです
2021年2月19日発行

矢祭町地域おこし協力隊の面接からちょうど一年が経ちました。その間、移住の準備から始まり、全く想定外のコロナ禍の中で引越しと自宅待機を経て、それまで生きてきた環境とは異なる場所での生活に慣れることを知り、我々のこと町民の方に知つてもらえるように、町で日々を過ごしてきました。それゆえ本来の目標である「地域おこし」という点では、未だ目に見える成果は出せていません。矢祭町での生活にも慣れ、親しく接してきた人たちも増えてきた今こそ、矢祭町地域おこし協力隊の面接からちょうど一年が経ちました。その間、移住の準備から始まり、全く想定外のコロナ禍の中で引越しと自宅待機を経て、それまで生きてきた環境とは異なる場所での生活に慣れることを知り、我々のこと町民の方に知つてもらえるように、町で日々を過ごしてきました。それゆえ本来の目標である「地域おこし」という点では、未だ目に見える成果は出せていません。矢祭町での生活にも慣れ、親しく接してきた人たちも増えてきた今こそ、

初心に返つて

GUEST HOUSE PROJECT

地域おこし協力隊マガジン



IDOBATA スタンド(仮)

矢祭町のそこかしこに現れる
地域おこし協力隊による
フリードリンクのおしゃべりスタンド

いどばた IDOBATAスタンド(仮) はじめました

IDOBATAスタンド(仮)って?

地域おこし協力隊(ゲストハウスプロジェクト)メンバーによるフリー ドリンクスタンドです。

地域内外の「交流の場」としての「ゲストハウス」づくりを目指すわたしたちは、矢祭町でどんな場所作りをしたらよいのか模索をしています。そこで、地域の方々と気軽におしゃべりのできる身近な交流の場作りからはじめることにしました。

それがIDOBATAスタンド(仮)。

(仮)なのは試行錯誤の段階だから。これからもっともっと楽しくなる場所作りを目指しています。

IDOBATAスタンド(仮)で地域の方々と「おいしい」や「たのしい」をすこしでも共有できるとうれしいです。気軽にお立ち寄りくださいね。

日時：毎週土曜日か日曜日の12時から15時（雨天の場合中止）

場所：SNS等での都度告知します。

一隊員紹介一



川瀬孝之
(文化財振興担当)
静岡県浜松市出身
前職は書道用品店経営



影山陽一
宮城県仙台市出身
前職はPCエンジニア
プライダル音響



佐瀬和宏
千葉県東金市出身
前職は農協職員



近藤秋子
埼玉県松伏町出身
前職は鉄道会社勤務



井上恵
福岡県宗像市出身
前職はグラフィック
デザイナー

矢祭人インタビュー

『まち冒険キーマンSTORY』

<https://machibouken.jp/yamatsuri/>



地域おこし協力隊メンバーが、矢祭町で頑張っている人やおもしろいことをしている人を取材し、「まち冒険 キーマン STORY」で、その取り組み内容や想いを紹介します。
ぜひ、ご覧ください。

QRコードから
アクセス！



Instagramやってます
やまつりぐらし
yamatsuri_life

矢祭の景色や行事、
日々の暮らしに感じる
魅力を発信します。

ゲストハウスプロジェクトって?

地域おこし協力隊による、矢祭町の3つの地区「内川・東館・東山」でのゲストハウス立ち上げを目指しています。ゲストハウスと言えば、バックパッカーなどの旅行者が利用する安価な宿泊施設というイメージが強いかもしれません。近年、オーナーの思いが詰まった様々なゲストハウスが誕生しています。

わたしたちが目指すゲストハウスは「地域内外の交流の拠点」。外から来るお客様はもちろん、地域のお年寄りから子供まで気軽に立ち寄れる場所であり、矢祭町の魅力を発信する場所であることを目指しています。

地域おこし協力隊 ゲストハウスプロジェクト

矢祭町役場 事業課 : 0247-46-4576



活動をお知らせ
しています



これからのお話なんですか？」
元々音響さんとして色々なセレモニーに関わったりとか、他にも色々なお仕事をされてきましたけど、これから企画してみたいこととかやつてみたい」となんてありますか？
影山：はい、焚火を囲みながら、キャンプめしを食べてもらって、アコースティックライブのような感じで音楽を提供できたらいいなっていうのは一番考えています。
——それでは最後の質問です。これからどんな福島人になりたいですか？
影山：私の（父方の）祖父母が福島県出身で、子供のころからすごく愛着のある土地だったんですけど、震災の時に私は地元と言える被災三県

元々音響さんとして色々なセレモニーに関わったりとか、他にも色々なお仕事をされてきましたけど、これから企画してみたいこととかやつてみたいことなんてありますか？

影山：はい、焚火を囲みながら、キャンプめしを食べてもらって、アコースティックライブのような感じで音楽を提供できたらいいなっていうのは一番考えています。

*

*

*

卷之三

影山のピックアップソング♪

番組内で2曲かけていただいたので、その時のコメントと合わせてご紹介します。

『1/6 の夢旅人 2002』 by 樋口了一

“僕は「水曜どうでしょう」がもう大好きで何回も何回も観ているんです”
“影山さん自身もそうやって旅をしてきて、色々なものを感じて、
そこに色々なパワーを秘めて、今この福島県の矢祭町にいるのですね”

『世界の地図』 by OAU

“これから企画してみたいこととかやってみたいことなんてありますか？”
“焚火を囲みながら、キャンプめしを食べてもらって、アコースティックライブ
のような感じで音楽を提供できたらいいなっていうのは一番考えています”

うところですよね。理由はないけど行きたいとか、理由はないけどここに居たいとか、何かそういうところがやっぱり、心のふるさとって言われるところだと思うんですね。そういう意味で色んな経験をされた影山さんだからこそ、そうやって色々な時間の流れたり、人との交わりだつたりということをこれから駆使して前に進んでいきましょう。

—でも元々は北海道に行きたかったんですね?しかも受かっていませんよ?では決定的なことは人だつたっていうことですか?

—それでは、なぜ矢祭町だったのか、なぜ地域おこし協力隊だったのか、そこをお聞きしたいです。

影山・実は矢祭に来る前に、北海道の地域おこし協力隊に受かっていたんですね。でも、その後矢祭の面接に来た時に、一日がかりで町を案内していただきて、町のいろんな方にお会いして、その方たちの熱い思い、この町を良い方に変えていこうっていう力をすごく感じることができたんです。それで矢祭に来ることに決

住みたいな、って気持ちが芽生え始めたのがその時期だったんです。それで、実際には横浜で仕事をしながら、将来自分が生きていく場所を少しづつ探しながら生活していたんですけど、それをきっかけに結局矢祭に住むことになりました。なぜ矢祭かというのにはまた別にあるんですけど、そういうスローライフを送れる町に住みたいと思ったのが、そもそも

影山：「はい、一番はそうですね。」
えうすごいなう、人の力ってー
のきっかけが、パズルみたいに
チツとハマつたからなのでしょ

のが元々のゲストハウスプロジェクトの始まりになります。

ただくところから始めたいと思つてやつています。

に対してもできなかつたんですね。で、そのままずっと来てしまつたんですけど、今こうやって福島に住むことになつて、微力ながらも少しでも福島の復興、まだまだ全然原発の近くとか復興できていない地域もありますし：

私に何ができるかわからないですけれども、そういうのは常に自分の由に持つて、それに対する行動をしていきたいなと思って。いつか、福島にはこんなに楽しくて幸せな場所があるんだよっていうのを、外の人にもどんどん分かってもらいたいなつて思つています。

一ひとつと、ここに来れば幸せになるよつていう場所を作つてくださると

トハウジングプロジェクトについてお聞きしたいのですが、こちらは具体的にどんなプロジェクトなのでしょうか？

影山：人の集まる場所を作りたいという町の方々の思いがあつて、それをゲストハウスでやつたらどうか、というものがそもそも始まりだったようです。住民の方には町の未来に対する危機感があるので、先ほどもお話ししたように、何とか変えたいくらいの気持ちが強いんですね。

でも、それを一人でやるのは難しいんですね、当然皆さんご自身の仕事をお持ちですし。ただ、人が集まれば色んなことをえていける力にならぬ、町内の人人が集まる場所、町の外からも人が集まる場所。そこで色々なアイディアが生まれたり行動を起すときつゝにならぬ、そういう方

影山..「はい、一番はそうですね。」
一え~すごいな~、人の力って! そ
のきっかけが、パズルみたいにガ
チつとハマつたからなのでしょう
ね、きっと。
影山..「そうですね、私自身も自分の
力で何かを変えていけるんじやない
かという感触を得られたのが大きい
と思います。」

のが元々のゲストハウスプロジェクトの始まりになります。

ーそのゲストハウスの候補地みたはなものは決まっているんですか?

影山..まだ決定ではないのですが(町の構想としては)久慈川の流れる町の中心部、東館地区とその両側の山側の内川地区、東山地区の計2地区でそれぞれ一軒ずつになります。

ただくところから始めたいと思つてやつています。

一じゃあ今は、皆さんからそういう要素をいただいてる段階なんですね。本音で話せる場所、そして、きっと影山さんのことだから、音楽もずっと続けている方なので、きっと気持ちよく過ごせるゲストハウスになりそうだな、応援してます、フツ。